

11月24日(月) A会場 午前

S03. 地殻変動・GNSS・重力

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 横田裕輔・長田幸仁・鷺谷威・飛田幹男

- 9:00 A11-01 東北沖地震前後における南海トラフ沿いの海底の移動速度  
# 横田裕輔・石川直史・渡邊俊一 (海洋情報部)
- 9:15 A11-02 東北沖地震後の海底地殻変動  
# 渡邊俊一・石川直史・横田裕輔・佐藤まりこ (海洋情報部)・木戸元之 (東北大)
- 9:30 A11-03 海底地殻変動観測の観測効率向上の試み  
# 石川直史・渡邊俊一・横田裕輔・秋山裕平 (海上保安庁)
- 9:45 A11-04 日本海溝軸を挟んだ海底間音響測距観測：2011年東北地方太平洋沖地震の地震時大すべり域直近での結果  
# 長田幸仁 (東北大院理)・木戸元之 (東北大災害研)・伊藤喜宏 (京大防災研)  
飯沼卓史・日野亮太 (東北大災害研)・藤本博己 (防災科研)
- 10:00 A11-05 日本海溝沿いの東北沖地震後の余効変動検出に向けた海底地殻変動繰り返し観測  
# 木戸元之・日野亮太・飯沼卓史・東龍介・和田育子 (東北大災害研)  
富田史章・長田幸仁・太田雄策・今野美冴・中山貴史・三浦哲 (東北大大理)  
藤本博己 (防災科研)
- 10:15 A11-06 GPS音響結合方式によって計測された東北沖地震後の太平洋プレートにおける高変位速度  
# 富田史章・長田幸仁・太田雄策 (東北大大理)・木戸元之・日野亮太・飯沼卓史 (東北大災害研)
- 10:30 休憩
- 10:45 A11-07 東北沖地震余効変動時系列の分析による余効滑りと粘弾性緩和の分離の試み  
# 飛田幹男・赤司貴則・宗包浩志・水藤尚・川元智司・畑中雄樹・矢来博司 (国土地理院)
- 11:00 A11-08 東北地方太平洋沖地震の直前15年間に起きた測地学・地震学的現象  
瀨瀬一起・# 小林広明・樋口俊 (東大地震研)
- 11:15 A11-09 GRACE地震学：重力時間変化と地震  
# 日置幸介・田中優作 (北大院理)・松尾功二 (国土地理院)
- 11:30 A11-10 GPS観測に基づく2011年4月11日福島県浜通り地震(Mw6.6)の余効地殻変動  
# 堀草子 (茨大理工学)・青木陽介・加藤照之 (東大地震研)・宮下芳 (茨大理工学)
- 11:45 A11-11 日本海東縁ひずみ集中帯における東北沖地震後の地殻変動  
# 鷺谷威 (名大・減災セ)・関根秀太郎 (地震予知振興会)

A会場 午後

S20. 若手学術奨励賞記念講演  
(講演時間 20 分・質疑応答 5 分)  
座長 中島淳一

会長挨拶

- 13:00 A12-01\* 地震の初期破壊過程解析と破壊成長過程のスケーリング研究  
# 内出崇彦 (産総研)
- 13:25 A12-02\* 断層の摩擦構成則と地震サイクルに関する研究  
# 野田博之 (JAMSTEC)
- 13:50 A12-03\* 内陸域における地震活動の発生過程に関する研究  
# 行竹洋平 (神奈川県温地研)

S21. 新潟地震 50 周年・新潟県中越地震 10 周年：これからの地震研究と災害軽減  
(講演時間 20 分・質疑応答 5 分, ポスター紹介 10 分)  
座長 中島淳一

- 14:30 A12-04\* 日本海東縁海域の活構造  
# 岡村行信 (産総研活断層・火山部門)
- 14:55 A12-05\* 新潟県の地震：1828 年三条地震  
# 矢田俊文 (新潟大人文)
- 15:20 A12-06\* 1964 年新潟地震と安芸敬一  
# 入倉孝次郎 (愛知工大)
- 15:45 A12-07\* 災害対応支援の新たな取組  
# 細貝和司 (新潟県防災局)
- 16:10 A12-08\* 鉄道分野の地震に対する最近の取組み  
# 室野剛隆 (鉄道総研)
- ポスター紹介
- 16:35 S21-P01\* 現在・将来の防災につなげる過去の災害記録の公開～「1964 年新潟地震オープンデータ」の試み～  
# 白田裕一郎・田口仁・内山庄一郎・鈴木比奈子 (防災科研)

11 月 24 日 (月) B会場 午前

S15. 強震動・地震災害  
(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)  
座長 干場充之・功刀卓・森川信之・大久保慎人

- 9:00 B11-01 揺れの数値予測—データ同化・リアルタイム Shake-map・波動伝播シミュレーション—  
# 干場充之 (気象研究所)・青木重樹 (気象庁)
- 9:15 B11-02 強震連続観測データの防災情報の利用に向けて  
# 青井真・功刀卓・中村洋光・鈴木亘・藤原広行 (防災科研)
- 9:30 B11-03 先進強震計と実時間強震動把握・地震早期警報  
# 功刀卓・中村洋光・鈴木亘・青井真 (防災科研)

\*は招待講演

- 9:45 B11-04 震度の概算値を用いた領域警報判断手法の開発  
# 中村洋光・功刀卓・鈴木亘・青井真 (防災科研)
- 10:00 B11-05 リアルタイム長周期地震動情報可視化システムの開発  
# 鈴木亘・功刀卓・ダカールヤダープ・青井真・中村洋光 (防災科研)
- 10:15 B11-06 緊急地震速報の更なる改善に向けて－残された課題とその改善策－  
# 鷹野澄 (東大情報学環／東大地震研)
- 10:30 休憩
- 10:45 B11-07 地震動予測式における地盤増幅補正項の再検討  
# 森川信之・藤原広行 (防災科研)
- 11:00 B11-08 長周期地震動の距離減衰式の作成 (その1) 減衰の距離依存性を考慮した検討  
# 元木健太郎・加藤研一 (小堀鐸二研究所)
- 11:15 B11-09 全国ゆれやすさ分布の推定 ー震度距離減衰式の改良ー  
# 大久保慎人・木股文昭・本多亮 (東濃地震科研)・中嶋唯貴 (北大工)
- 11:30 B11-10 周波数・震源距離依存のラディエーション係数に関する検討  
# 長坂陽介・野津厚 (港湾空港技術研究所)
- 11:45 B11-11 2013年5月24日オホーツク海深発地震による遠地の最大地動加速度  
# 久家慶子 (京大理)

## B 会場 午後

- 13:00 若手学術奨励賞記念講演 (A 会場のプログラムを中継)
- 14:15 休憩
- 14:30 新潟地震 50 周年・新潟県中越地震 10 周年：これからの地震研究と災害軽減 (A 会場のプログラムを中継)

## 11 月 24 日 (月) C 会場 午前

### S17. 津波

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 佐竹健治・瀬尾和大・久保田達矢・山本直孝

- 9:00 C11-01 日本海東縁の古津波堆積物と巨大津波履歴  
# 平川一臣 (北大)
- 9:15 C11-02 津波波形の平均化による繰り返し間隔 (周期) の検出  
# 阿部邦昭 (なし)・岡田正実・林豊 (気象研)
- 9:30 C11-03 On the Source of the Makran Tsunami of 27 November 1945, Northwestern Indian Ocean  
Mohammad Heidarzadeh・#Kenji Satake (ERI, Univ. of Tokyo)
- 9:45 C11-04 東京湾内外における津波のスペクトル解析と固有振動  
# 瀧川朗・室谷智子・Mohammad Heidarzadeh・Wu Yifei・佐竹健治 (東大地震研)
- 10:00 C11-05 緯度経度座標系における座標回転変換を用いた全球津波シミュレーション  
# 稲津大祐 (東大海洋アライアンス)・齊藤竜彦 (防災科研)
- 10:15 C11-06 3.11 津波の死者率についての若干の考察  
# 瀬尾和大 (宮城教育大)

10:30		休憩
10:45	C11-07	新形式のレーザ津波計の概念—ファイバリングレーザ利用による簡潔な機構— # 坂田正治 (東大院総合文化)
11:00	C11-08	GPS 津波計に関する最近の開発研究 # 加藤照之 (東大地震研)・寺田幸博 (高知高専)・山本伸一 (NICT) 橋本剛正・本橋修 (JAXA)・松下泰弘・和田晃 (日立造船 (株))
11:15	C11-09	リアルタイム GPS 解析によって推定された震源断層解の不確実性にもとづいた津波浸水予測精度の評価 # 久保田達矢・日野亮太・太田雄策・越村俊一 (東北大)・齊藤竜彦 (防災科研)
11:30	C11-10	日本海溝海底地震津波観測網 (S-net) を用いた津波即時予測手法に関する予備的検討 # 山本直孝・青井真・平田賢治・功刀卓・中村洋光・鈴木亘 (防災科研)
11:45	C11-11	確率論的津波浸水ハザード評価の試み 齋藤龍 (国際航業)・# 平田賢治・藤原広行 (防災科研) 村嶋陽一・村田泰洋・井上拓也・高山淳平 (国際航業) 中村洋光・長田正樹・大角恒雄 (防災科研)・松山尚典 (応用地質)・秋山伸一 (CTC)

11月24日(月) D会場 午前

S04. テクトニクス, S12. 岩石実験・地殻応力, S09. 地震活動

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 深畑幸俊・宮武隆・桑野修・古川信雄

テクトニクス

9:00	D11-01	スラブの脱水とプレート沈み込みのダイナミクス # 中尾篤史 (東工大理工)・岩森光 (JAMSTEC)・中久喜伴益 (広島大理)
9:15	D11-02	プレートの定常沈み込みに伴う島弧の変形とその本質的原因 # 深畑幸俊 (京大防災研)・松浦充宏 (統数研)
9:30	D11-03	南関東地域のテクトニクスと起こり得るプレート境界地震 # 松浦充宏 (統計数理研)・野田朱美 (構造計画研)
9:45	D11-04	関東地方の 3 次元温度構造 # 和田育子 (東北大災害研)
10:00	D11-05	構造不均質とアスペリティについての力学的考察 # 宮武隆 (東大地震研)
10:15	D11-06	フィリピン海プレートの過去の運動—古地磁気学的アプローチの限界— # 高橋雅紀 (産総研地質情報)
10:30		休憩

岩石実験・地殻応力

10:45	D11-07	三軸圧縮下の花崗岩試料における破壊にともなう透過弾性波の走時の変化について # 今堀敦史・川方裕則 (立命館大学)・高橋直樹 (三井住友建設)
11:00	D11-08	粉体層の摩擦応答に及ぼす壁面粗さの影響 # 桑野修 (MAT/JAMSTEC)・中谷正生・波多野恭弘 (東大地震研) 阪口秀 (MAT/JAMSTEC)

## 地震活動

- 11:15 D11-09 関東地域及びその周辺における活断層に関連する地震発生層の厚さ  
# ヤノトモコエリザベス・松原誠（防災科研）
- 11:30 D11-10 2005年から始まった関東地方の地震活動活発化  
# 勝俣啓（北大）・田中佐千子（防災科研）
- 11:45 D11-11 Recent Seismicity along the Aceh Segment of the Sumatran Fault  
Yanuarsih Tunggal Putri（BMKG）・# 古川信雄（建築研国地セ）

11月25日(火) A会場 午前

S03. 地殻変動・GNSS・重力, S08. 地震発生の物理

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 田中愛幸・道家涼介・板場智史・室谷智子

地殻変動・GNSS・重力

- 9:00 A21-01 東北地方太平洋沖地震後の奥羽脊梁山脈沿いの余効ひずみ異常域  
# 三浦哲・太田雄策・飯沼卓史・出町知嗣・立花憲司・佐藤俊也(東北大・院理)  
大園真子(山形大・理)
- 9:15 A21-02 日本海溝・南海トラフの歴史地震に見られる周期性と潮汐の振幅ゆらぎに基づく定性的解釈  
# 田中愛幸(東大地震研)・井出哲(東大理)
- 9:30 A21-03 東北日本弧の3次元レオロジー構造と2011年東北沖地震後の粘弾性変形過程  
# 芝崎文一郎(建築研)・武藤潤(東北大理)・松本拓巳(防災科研)  
飯沼卓史(東北大災害研)・大園真子(山形大理)
- 9:45 A21-04 新潟-神戸ひずみ集中帯新潟県中部の詳細地殻変動分布とその成因に関する考察  
# 水藤尚・小林知勝・川元智司(国土地理院)
- 10:00 A21-05 GPSデータによる伊豆衝突帯北東縁部の剪断変形帯  
# 道家涼介・原田昌武・里村幹夫(温地研)・宮岡一樹(気象研)
- 10:15 A21-06 Transient crustal deformation due to slow slip observed on ocean bottom pressure recorders in the Hikurangi margin  
# Yoshihiro Ito (DPRI)・Laura Wallace (UTIG)・Stuart Henrys (GNS Science)  
Kimihiro Mochizuki (ERI)・Charles Williams (GNS Science)・Ryota Hino (IRIDEs)  
Hiroshi Ichihara (JAMSTEC)・Daisuke Inazu (NIED)・Syuichi Suzuki (Tohoku Univ)  
Takeo Yagi (ERI)・Tatsuya Kubota (Tohoku Univ.)・Daisuke Haijima (ERI)  
Bill Fry・Stephen Bannister (GNS Science)
- 10:30 休憩
- 10:45 A21-07 短期的SSEが誘発される応力条件  
# 板場智史(産総研)・木村武志(防災科研)
- 11:00 A21-08 アンサンブルカルマンフィルタを用いたスロースリップを引き起こす断層面上の摩擦パラメータ推定についての数値実験  
# 奥田亮介・平原和朗・宮崎真一(京大理)・加納将行(東大地震研)・大谷真紀子(京大理)
- 11:15 A21-09 歪計データのスタッキングによる長期的ゆっくりすべりの検出  
# 宮岡一樹(気象研)・木村久夫・沼野あかね・露木貴裕・橋本徹夫・内藤宏人(気象庁)

地震発生の物理

- 11:30 A21-10 2014年チリ・イキケ地震 Mw8.1 の発生前に見られた複数のスロースリップイベント  
# 加藤愛太郎(名大)・中川茂樹(東大地震研)
- 11:45 A21-11 Hybrid Back-Projection法によって明らかになった2014年イキケ地震の複雑な破壊過程  
# 奥脇亮・八木勇治(筑波大生命環境)
- 12:00 A21-12 Comparative evaluation of tsunami-GPS and teleseismic body wave inversion methods for the 2014 Iquique, Chile, earthquake  
Aditya Riadi Gusman・#Satoko Murotani・Kenji Satake・Mohammad Heidarzadeh  
Shingo Watada (ERI, Univ. Tokyo)・Endra Gunawan (Nagoya Univ.)・Bernd Schurr (GFZ)

## A 会場 午後

### S08. 地震発生の物理

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 北佐枝子・松本聡・中野優・井出哲

- 13:30 A22-01 北海道下におけるスラブ内地震の応力降下量の空間変化の特徴 # 北佐枝子 (防災科研)
- 13:45 A22-02 地震メカニズムトモグラフィ法によるバーゼル地熱貯留層での間隙流体圧分布の時間発展解析  
# 寺川寿子 (名大環境)・Nicholas Deichmann (ETH Zurich)
- 14:00 A22-03 応力データインバージョンによる収束型プレート境界に於ける衝突率の推定  
# 橋本千尋・寺川寿子 (名大環境)
- 14:15 A22-04 茨城県北部・福島県浜通りにおける小地震の応力降下量の空間分布  
# 内出崇彦・今西和俊 (産総研)・Peter M. Shearer (UC サンディエゴ)
- 14:30 A22-05 発震機構解から推定する地震断層の応力状態検出の試み  
# 松本聡 (九大地震火山セ)・片尾浩・飯尾能久 (京大防災研)
- 14:45 A22-06 地震メカニズム解の逆解析による応力場と間隙流体圧の推定について—山陰地方の地震帯における稠密地震観測結果から—  
# 飯尾能久・米田格・三浦勉・澤田麻沙代・岸本信二・中尾節郎・片尾浩 (京大防災研)
- 15:00 休憩
- 15:15 A22-07 2004 年紀伊半島沖地震のメカニズム  
# 中野優・堀高峰 (JAMSTEC)
- 15:30 A22-08 熊本県八代海における深部スローイベントの検出可能性  
# 宮崎真大・松本聡・清水洋 (九州大・地震火山センター)
- 15:45 A22-09 西南日本の深部低周波微動の輻射エネルギーの推定  
# 案浦理・小原一成・前田拓人 (東大地震研)
- 16:00 A22-10 微動潮汐応答性の空間分布推定  
# 矢部優・井出哲 (東大理)・田中愛幸 (東大地震研)・Heidi Houston (Univ. of Washington)
- 16:15 A22-11 超低周波帯域におけるゆっくり地震の普遍性  
# 井出哲・矢部優 (東大理)
- 16:30 A22-12 スロー地震は、なぜ高温沈み込み帯で起きるのか  
# 山下輝夫 (東大地震研)・Alexandre Schubnel (ENS, Paris)

## 11 月 25 日 (火) B 会場 午前

### S15. 強震動・地震災害

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 岩城麻子・野津厚・香川敬生・筧楽磨

- 9:00 B21-01 加速度エンベロープ経時特性の周波数帯間の関係性を用いた 2003 年十勝沖地震 ( $M_w 8.3$ ) の広帯域地震動シミュレーション  
# 岩城麻子・藤原広行・青井真 (防災科研)
- 9:15 B21-02 2011 年東北地方太平洋沖地震の観測地震動に対する一解釈  
# 宮崎光生・水江正 (ダイナミックデザイン)
- 9:30 B21-03 Long-Period Site Response in Northeastern Japan from Ground Motion Prediction Equations  
# Rami Ibrahim・Hongjun Si・Kazuki Koketsu・Hiroe Miyake (ERI, Univ. Tokyo)

- 9:45 B21-04 新潟における大地震の地震動と石油タンクの溢流  
# 太田外氣晴 (元足利工大)
- 10:00 B21-05 Long-Period Ground Motion Prediction of Subduction Earthquakes Using the Onshore-Offshore Ambient Seismic Field  
#Loic Viens・Hiroe Miyake・Kazuki Koketsu (ERI, Univ. Tokyo)
- 10:15 B21-06 疑似点震源モデルによる 2004 年紀伊半島南東沖地震の前震の強震動シミュレーション  
# 野津厚 (港空研)
- 10:30 休憩
- 10:45 B21-07 ため池埋立地における常時微動の比較計測  
# 林能成・政丸泰樹 (関西大学社会安全学部)
- 11:00 B21-08 中央防災会議による上町断層変位の検証に見る論理的誤謬  
# 岩崎好規 (地域地盤環境研)
- 11:15 B21-09 1943 年鳥取地震の震度分布を説明する震源モデル  
# 香川敬生・野口竜也 (鳥取大学院工)・西田良平 (鳥取大学)
- 11:30 B21-10 2014 年 3 月 14 日の伊予灘のスラブ内地震による強震動の特徴  
# 筧楽磨 (神戸大・理)
- 11:45 B21-11 想定南海トラフ巨大地震による強震動予測に基づく西南日本における定量的被害予測  
# 宝音図・川瀬博・松島信一 (京大防災研)
- 12:00 B21-12 南海トラフ地震のハザード評価に基づく長周期地震動と超高層建物の応答との関係  
# 神田克久・鈴木芳隆 (小堀鐸二研)・藤原広行・森川信之・前田宜浩 (防災科研)

## B 会場 午後

**S15. 強震動・地震災害, S18. 地震教育・地震学史, S13. 地球化学・地下水, S05. 地球熱学, S06. 地殻構造**  
(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 三宅弘恵・伊東明彦・小泉尚嗣・金尾政紀

### 強震動・地震災害

- 13:30 B22-01 1707 年宝永地震による三河国吉田城 (愛知県豊橋市) の強震動被害  
# 中西一郎 (京大理)
- 13:45 B22-02 2014 年 South Napa 地震と 1989 年 Loma Prieta 地震の特性化震源モデル  
# 三宅弘恵 (東大地震研)
- 14:00 B22-03 2014 年 M6.1 South Napa 地震による地震動の距離減衰特性について  
# 司宏俊・瀬瀬一起・三宅弘恵・イブラヒーム ラミ (東大地震研)

### 地震教育・地震学史

- 14:15 B22-04 減災アクションカードゲームによる地震・津波教育：予察  
久松明史・牧野嶋文泰 (東北大院工学)・渡邊俊介 (東北大院理学)  
金子亮介 (東北大院工学)・山田修司 (東北大院文学)・# 久利美和 (東北大災害研)
- 14:30 B22-05 (公社) 日本地震学会が主催する教員免許状更新講習  
# 伊東明彦 (宇都宮大)・荒井賢一 (栄東高)・中島健 (県立大津清陵高)・  
根本泰雄 (桜美林大)・美澤綾子 (県立静岡高)・南島正重 (都立両国高)・  
山田伸之 (福岡教育大)・山野誠 (東大地震研)

- 14:45 B22-06 教員免許状更新講習「中越・上越の地震・防災・ジオパークと教育」と「地震研究最前線と関東大震災」報告  
 # 南島正重（両国高）・山野誠（東大地震研）・荒井賢一（栄東高）・美澤綾子（静岡高）  
 根本泰雄（桜美林大）・伊東明彦（宇都宮大教育）・中島健（大津清陵高）・卜部厚志（新潟大）  
 竹之内耕（フォッサマグナミュージアム）・酒井慎一（東大地震研）・武村雅之（名大減災セ）
- 15:00 休憩

#### 地球化学・地下水

- 15:15 B22-07 2014年3月14日の伊予灘の地震（M6.2）に伴う道後温泉の水位変化について  
 # 小泉尚嗣（産総研）・木下千裕（京大防災研）
- 15:30 B22-08 間隙水圧観測から検出した東北地方太平洋沖地震による透水性変化  
 # 木下千裕・加納靖之・伊藤久男（京大防災研）

#### 地球熱学

- 15:45 B22-09 火山地域浅部ボーリングコアの熱物性測定およびその応用  
 # 田中明子・後藤秀作・山元孝広（産総研）・山野誠（東大地震研）

#### 地殻構造

- 16:00 B22-10 国際極年での広帯域地震観測による東南極大陸の地殻・上部マントル構造  
 # 金尾政紀（極地研）・坪井誠司（JAMSTEC）・趙大鵬（東北大）
- 16:15 B22-11 四川－雲南とチベット東縁地域の地下構造と地震火山活動  
 # 趙大鵬（東北大・理）
- 16:30 B22-12 オントンジャワ海台の地殻深部反射面  
 # 三浦誠一・藤江剛・野口直人・小平秀一（海洋研究開発機構）  
 コフィン－ミラード（タスマニア大学）・カワグル－サイモン（パプアニューギニア大学）  
 ヴェラヴ－ロナルド（パプアニューギニア鉱物資源庁）

### 11月25日（火）C会場 午前

#### S21. 新潟地震 50 周年・新潟県中越地震 10 周年：これからの地震研究と災害軽減, S10. 活断層・歴史地震 （講演時間 12 分・質疑応答 3 分）

座長 加藤直子・阿部信太郎・木村治夫・鹿倉洋介

#### 新潟地震 50 周年・新潟県中越地震 10 周年：これからの地震研究と災害軽減

- 9:00 C21-01 地震探査からみた新潟堆積盆地東縁の活断層と震源断層  
 # 加藤直子・佐藤比呂志・石山達也（東大地震研）
- 9:15 C21-02 新潟堆積盆地の活断層の構造的な特徴  
 # 石山達也・佐藤比呂志・加藤直子（東大地震研）・今泉俊文（東北大）  
 白石和也・阿部進・斎藤秀雄・河合展夫（地球科学総合研究所）  
 稲葉充（石油資源開発）・川本友久・小平千尋（国際石油開発帝石（株））
- 9:30 C21-03 短縮変形を被った背弧リフト新潟堆積盆地の地殻構造  
 # 佐藤比呂志・石山達也・加藤直子（東大地震研）  
 阿部進・白石和也・斎藤秀雄（地球科学総合研究所）・稲葉充（石油資源開発）  
 野徹雄・佐藤壮・小平秀一（JAMSTEC）・武田哲也・松原誠（防災科技研）

## 活断層・歴史地震

- 9:45 C21-04 反射法探査データから見た日本海の断層分布  
# 高橋成実・及川信孝・新井麗・勝山美奈子・安藤五郎・清水祥四郎・田中恵介（海洋研究開発機構）  
荒井晃作・井上卓彦（産業技術総合研究所）・金田義行（海洋研究開発機構）
- 10:00 C21-05 高田平野西縁断層帯海域延長部に分布する断層の活動性について  
# 阿部信太郎（産総研）・荒井良祐（川崎地質）
- 10:15 C21-06 山陰沖から九州北方沖の第四紀断層  
# 岡村行信・井上卓彦・阿部信太郎（産総研）
- 10:30 休憩
- 10:45 C21-07 稠密地震観測による奥羽脊梁山地の地震波速度構造（2）－断層破壊の地殻構造的な規制要因－  
# 青柳恭平・木村治夫（電中研）・阿部信太郎（産総研）
- 11:00 C21-08 横手盆地東縁断層帯（南部）大森山断層のP波浅層反射法地震探査  
# 木村治夫・青柳恭平（電力中央研究所）・盛俊介・小池太郎（ジオシス）
- 11:15 C21-09 活動履歴からみた糸魚川－静岡構造線活断層系のセグメンテーション  
# 遠田晋次（東北大災害研）・丸山正（産総研）・奥村晃史（広島大学）・小俣雅志（クレアリア）
- 11:30 C21-10 浮島ヶ原（富士市）での掘削調査による富士川河口断層帯の活動履歴の再検討  
# 藤原治（産総研）・藤野滋弘（筑波大）・小松原純子（産総研）  
守田益宗（岡山理大）・行谷佑一（産総研）
- 11:45 C21-11 1891年濃尾地震災害の再検討（2）全家屋全潰の地域  
# 木股文昭（東濃地震科学研究所）・松多信尚（岡山大院教）
- 12:00 C21-12 定常的隆起と地震時の小規模な隆起による海岸段丘と時間予測モデル：喜界島のケース  
# 鹿倉洋介（名大環境）

## C会場 午後

### S10. 活断層・歴史地震, S14. 地震予知・予測

（講演時間12分・質疑応答3分）

座長 岡村行信・熊澤貴雄・石川有三・兵藤守

## 活断層・歴史地震

- 13:30 C22-01 Characterizing a "mixed signal" in calcareous fault gouge with the ESR method: It's usability in dating active faults  
# Emilia Bi Fantong・Akira Takeuchi・Toshio Kamishima (Univ. Toyama)
- 13:45 C22-02 活断層における最新滑り面での微粒子の保存  
# 廣野哲朗・朝山暁（大阪大・宇宙地球科学）

## 地震予知・予測

- 14:00 C22-03 地震予測の研究の展望  
# 尾形良彦（東大地震研, 統計数理研）
- 14:15 C22-04 ベイズ手法によるポアソンモデル地震確率の信頼性について  
# 井元政二郎・藤原広行（防災科研）
- 14:30 C22-05 地震カタログの不完全を考慮した南海トラフ地震の長期的発生確率Ⅱ－BPT分布の場合  
# 岡田正実（気象研）
- 14:45 C22-06 日本付近で発生したプレート間大地震の前震  
# 田中利佳・織原義明・橋本哲・鴨川仁（東京学芸大教育）

- 15:00 休憩
- 15:15 C22-07 新潟の地震空白域について  
# 石川有三 (産総研活断層・火山)
- 15:30 C22-08 新潟県出湯温泉における 2013 年からの異常な水温変化 - 新たな地震活動への前兆的変動か? -  
# 佃為成
- 15:45 C22-09 長野県松本市における大気イオン濃度変化  
# 亀田晃生 (神奈川工大院)・矢田直之 (神奈川工大)
- 16:00 C22-10 1944 年東南海・1946 年南海地震前後の紀伊半島沿岸の上下変動  
# 梅田康弘 (-)・板場智史 (産総研)
- 16:15 C22-11 近傍での地震発生が南海トラフ巨大地震発生に及ぼす影響  
# 兵藤守・堀高峰 (海洋研究開発機構)・金田義行 (名古屋大学)
- 16:30 C22-12 日本周辺における海洋性哺乳類の漂着および深海魚の捕獲と地震との関係  
# 織原義明 (東京学芸大物理)・野田洋一 (テラテクニカ)  
鴨川仁 (東京学芸大物理)・長尾年恭 (東海大予知セ)

11 月 25 日 (火) D 会場 午前

S09. 地震活動

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 松浦律子・鶴岡弘・山下裕亮・浅野陽一

- 9:00 D21-01 飛騨山脈南部の 2014 年 5 月の地震活動  
# 大見士朗 (京大防災研)
- 9:15 D21-02 2011 年東北沖地震に伴う内陸誘発地震  
# 岡田知己・松澤暢・海野徳仁・吉田圭佑・長谷川昭 (東北大理)  
2011 年東北地方太平洋沖地震緊急余震観測グループ
- 9:30 D21-03 根室沖を含む北海道東部沖広域で継続中の大きな相対的地震活動度の静穏化について  
# 松浦律子 ((公財)地震予知振興会)
- 9:45 D21-04 東海地方に於ける地震活動静穏化の地震規模依存性  
# 高波鐵夫 (東大地震研)・Deborah E Smith・Selwyn I Sacks (DTM, Carnegie Inst.)  
末広潔 (JAMSTEC)
- 10:00 D21-05 Hi-net 自動処理震源カタログを用いた余震活動の確率予測  
# 近江崇宏 (東大生産研)・尾形良彦 (統数研)・汐見勝彦・澤崎郁 (防災科研)  
合原一幸 (東大生産研)・Bogdan Enescu (筑波大)
- 10:15 D21-06 CSEP-Japan における 1 日テストクラスの地震発生予測検証実験結果報告  
# 鶴岡弘・平田直 (東大地震研)
- 10:30 休憩
- 10:45 D21-07 OBS 観測による 2011 年東北沖地震以降の宮城沖日本海溝海溝軸周辺および海溝海側の地震活動  
# 尾鼻浩一郎・藤江剛・中村恭之・山本揚二郎・高橋努・佐藤壮・三浦誠一・小平秀一 (JAMSTEC)  
日野亮太 (東北大学)・篠原雅尚 (東大地震研)
- 11:00 D21-08 2011 年東北地方太平洋沖地震後の地震活動に対する局所的断層構造の影響  
# 鈴木悠平 (東北大理)・遠田晋次 (東北大災害研)・吉田圭佑・岡田知己 (東北大理)
- 11:15 D21-09 2011 年東北沖地震で発生した最大余震周辺の微小地震活動  
# 米島慎二・望月公廣・篠原雅尚・山田知朗 (東大地震研)・日野亮太 (東北大災害研)  
伊藤善宏 (京大防災研)・村井芳夫 (北大理)・佐藤利典 (千葉大理)

- 11:30 D21-10 日向灘における浅部低周波微動のマイグレーションに見られる特徴  
 # 山下裕亮 (東大地震研)・八木原寛 (鹿大南西島弧)・清水洋・内田和也 (九大地震火山センター)  
 平野舟一郎 (鹿大南西島弧)・馬越孝道 (長崎大院水環)・宮町宏樹 (鹿大理)  
 神蘭めぐみ・中元真美・福井海世 (九大地震火山センター)・兼原壽生 (長崎大水産)  
 山田知朗・篠原雅尚・小原一成 (東大地震研)
- 11:45 D21-11 臨時地震観測によって捉えられた南西諸島北部域の浅部超低周波地震活動  
 # 浅野陽一 (防災科研)・後藤和彦・八木原寛・平野舟一郎 (鹿大南西島弧)  
 針生義勝・檜森茂 (地震予知総合研究振興会)・上野友岳・木村武志・松澤孝紀 (防災科研)
- 12:00 D21-12 沈み込み帯の地震発生頻度を定めるものは何か?: トレンチにおけるスラブの屈曲とホルスト・  
 グラーベン構造  
 # 西川友章・井出哲 (東大理)

## D 会場 午後

### S09. 地震活動, S11. 地震に伴う諸現象, S19. 地震一般・その他

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 小菅正裕・今西和俊・筒井稔・東野陽子

#### 地震活動

- 13:30 D22-01 秋田県森吉山の誘発地震の波形の時間変化  
 # 小菅正裕 (弘前大理工)
- 13:45 D22-02 2011 年東北沖地震後の長野県北部地域における間隙流体に起因する地震活動の活性化  
 # 下條賢梧・Bogdan Enescu・八木勇治 (筑波大学)・武田哲也 (防災科研)
- 14:00 D22-03 微動活動の時間変化と発生確率モデル  
 # 水野尚人・井出哲 (東大理)
- 14:15 D22-04 様々な応力情報に基づく地域応力マップの作成—関東地域における試作—  
 # 今西和俊・内出崇彦・松下レイケン (産総研)
- 14:30 D22-05 地震活動度と地殻変動観測から推定した火山直下の地震発生域での間隙流体圧  
 # 森田裕一 (東大地震研)
- 14:45 D22-06 Inverting rupture geometry from triggering  
 # 郭一村 (北京大学)・庄建倉 (統数研)・周仕勇 (北京大学)
- 15:00 休憩

#### 地震に伴う諸現象

- 15:15 D22-07 地震動に伴う電界  
 # 高橋耕三
- 15:30 D22-08 地震により励起された電磁波パルスの地上への放射  
 # 筒井稔 (京産大コン理工)
- 15:45 D22-09 四国西部深部低周波微動発生域における地殻比抵抗モニタリング  
 山下太・# 本蔵義守・福山英一 (防災科研)
- 16:00 D22-10 巨大地震は火山の大噴火を励起するか?  
 # 小山順二 (北海道大学理学研究院自然史科学部門)

地震一般・その他

- 16:15 D22-11 4次元多項目モニタリングによる統合海洋研究の創出プロジェクト 新海洋開発時代の環境アセスメントと人材育成（第一報）  
# 鶴我佳代子・神田穰太・近藤逸人（東京海洋大）
- 16:30 D22-12 海洋長周期重力波を用いた南海トラフ付加帯の構造変化モニタリングへの試み  
# 東野陽子（海洋開発研究機構）・西田究（東大地震研）  
深尾良夫・末次大輔・藤亜希子・高橋成実（海洋開発研究機構）

11月26日(水) A会場 午前

S08. 地震発生の物理

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 岡元太郎・野村俊一・野田博之・鈴木岳人

- 9:00 A31-01 不均質構造モデルによる地震波グリーン関数波形を用いた2011年東北地方太平洋沖地震の破壊過程(4)  
# 岡元太郎(東工大)・竹中博士(岡山大)・原辰彦(建築研)  
中村武史(JAMSTEC)・青木尊之(東工大)
- 9:15 A31-02 Frictional and Radiated Energy for the Shallow Fault of the 2011 Tohoku-oki Earthquake from Results of JFAST  
# James Mori (DPRI, Kyoto Univ.)・Expedition 343 Scientists
- 9:30 A31-03 東北沖繰り返し地震の地震波エネルギー推定  
# 荒諒理・井出哲(東大理)・内田直希(東北大理)
- 9:45 A31-04 東北日本沈み込み帯の周期的スロースリップと地震活動  
# 内田直希・飯沼卓史(東北大理)・Robert M. Nadeau  
Roland Burgmann (UC Berkeley)・日野亮太(東北大理)
- 10:00 A31-05 相似地震の時空間更新過程モデルと東北日本沈み込み帯のスロースリップ  
# 野村俊一(東工大情報理工)・尾形良彦(統数研, 東大)・内田直希(東北大理)
- 10:15 A31-06 釜石沖繰り返し地震のシミュレーション: 2011年東北沖地震によるマグニチュードの変化  
# 吉田真吾・加藤尚之・福田淳一(東大地震研)
- 10:30 休憩
- 10:45 A31-07 地震性パッチが破壊核形成前に非地震性滑りイベントを起こす条件: 速度状態依存摩擦を用いた地震サイクル計算におけるA/Bの重要性  
# 野田博之・堀高峰(JAMSTEC)
- 11:00 A31-08 SSE発生間隔変化と隣接域での大地震準備過程と外的応力擾乱と - 決定論的な視点から -  
# 三井雄太(静大理)
- 11:15 A31-09 2011年東北地方太平洋沖地震の地震時すべりと余効すべりの空間的相補性  
# 飯沼卓史・日野亮太・木戸元之・長田幸仁(東北大災害研)・王克林(カナダ地質調査所)  
孫田昊哲(ビクトリア大理)・太田雄策・三浦哲(東北大理予知セ)
- 11:30 A31-10 高詳細モデルを用いた余効変動の大規模粘弾性有限要素シミュレーション  
# 縣亮一郎(東大工)・市村強(東大地震研)・平原和朗(京大理)  
兵藤守・堀高峰(JAMSTEC)・橋本千尋(名大環)・堀宗朗(東大地震研)
- 11:45 A31-11 列島規模海溝型地震サイクルシミュレーション  
# 平原和朗・大谷真紀子(京大理)
- 12:00 A31-12 熱・流体圧・空隙生成系中の滑りに伴う温度変化の解析的・数値的考察  
# 鈴木岳人(青学大理工)・山下輝夫(東大地震研)

## A 会場 午後

### S08. 地震発生の物理

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 麻生尚文・久保久彦・川方裕則・山口哲生

- 13:30 A32-01 Similarities between Vere-Jones' branching crack model and earthquake source process  
# 庄建倉 (統数研)・王墩 (東大地震研)・松浦充宏 (統数研)
- 13:45 A32-02 新たな正方形の震源型ダイアグラム  
# 麻生尚文 (東大理)・太田和晃 (東大地震研)・井出哲 (東大理)
- 14:00 A32-03 3次元非平面断層に適用可能な動的境界積分方程式法の高速度化  
# 安藤亮輔 (東大理)
- 14:15 A32-04 ベイジアンインバージョンとマルチタイムウィンドウ法を組み合わせた震源過程解析  
# 久保久彦・浅野公之・岩田知孝 (京大防災研)・青井真 (防災科研)
- 14:30 A32-05 強震波形を用いた 2010 年ニュージーランド Darfield 地震の震源過程  
# 田中美穂・浅野公之・岩田知孝・久保久彦 (京大防災研)
- 14:45 A32-06 Full moment tensor inversion for the 2013 Sea of Okhotsk and 1994 Bolivia deep earthquakes  
# 原辰彦 (建築研)・川勝均 (東大地震研)
- 15:00 休憩
- 15:15 A32-07 Supershear rupture over a curved fault for the M 7.7 September 24, 2013 Pakistan earthquake with resolution checks from field data  
#Dun Wang・Hitoshi Kawakatsu (ERI)・Jim Mori (DPRI)
- 15:30 A32-08 断層透過波モニタリングで観測された透過弾性波の変化－南アフリカ Ezulwini 鉱山  
# 川方裕則 (立命館大)・吉光奈奈 (東大院情報学環・東大地震研)・中谷正生 (東大地震研)  
Joachim Philipp (GMuG)・直井誠 (京大工)・Anthony Ward (Seismogen)  
土井一生 (京大防災研)・Thabang Masakale (OHMS)・Raymond Durrheim (CSIR)  
Luiz Ribeiro・Sylvester Morema (Seismogen)・小笠原宏 (立命館大)
- 15:45 A32-09 前震と初期すべり：大型摩擦実験からの知見  
# 福山英一・山下太・徐世慶 (防災科研)  
溝口一生 (電中研)・川方裕則 (立命館大)・滝沢茂 (筑波大)
- 16:00 A32-10 空間的不均質が引き起こす岩石摩擦のスケール依存性  
# 山下太・福山英一・徐世慶 (防災科研)・滝沢茂 (筑波大)・溝口一生 (電中研)  
川方裕則 (立命館大)・Francois Passelegue・Alexandre Schubnel (ENS)
- 16:15 A32-11 大型岩石試料を用いたせん断実験時に発生したスティック・スリップ・イベントの二次元的破壊伝播推定  
# 土田琴世 (立命館大)・川方裕則 (立命館大, 防災科研)  
福山英一・山下太 (防災科研)・溝口一生 (電中研, 防災科研)
- 16:30 A32-12 Evolution of Rupture Style with Accumulation of Fault Displacement during Large-scale Biaxial Friction Experiments  
#Shiqing Xu・Eiichi Fukuyama・Futoshi Yamashita (NIED)・Kazuo Mizoguchi (CRIEPI)  
Shigeru Takizawa (Univ. of Tsukuba)・Hironori Kawakata (Ritsumeikan Univ.)
- 16:45 A32-13 複数のアスペリティをもつゲル同士のすべり素過程  
# 山口哲生・姫野豊 (九大工)

11月26日(水) B会場 午前

S06. 地殻構造

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 利根川貴志・岩崎貴哉・飯高隆・野口科子

- 9:00 B31-01 Ps変換波を用いたカスカディア沈み込み帯における海底堆積物の異方性構造の推定  
# 利根川貴志・尾鼻浩一郎・山本揚二郎・小平秀一(海洋機構)
- 9:15 B31-02 Hi-net読み取り値データを用いた日本列島の異方性速度構造解析(その2)北米プレート-太平洋プレート  
# 石瀬素子・川勝均(東大地震研)・汐見勝彦(防災科研)
- 9:30 B31-03 北海道東部に沈み込んだ海洋性地殻の地震波速度  
# 椎名高裕・中島淳一・豊国源知・松澤暢(東北大)・北佐枝子(防災科研)
- 9:45 B31-04 1998-2000年北海道トランゼクトデータの再解析による日高衝突帯の構造 V  
# 岩崎貴哉(東京大学地震研究所)・津村紀子(千葉大学)・伊藤谷生(帝京平成大学)  
佐藤比呂志・蔵下英司・平田直(東京大学地震研究所)・在田一則(北海道大学)  
野田克也・藤原明・阿部進(地球科学総合研究所)  
菊池伸輔(石油資源)・鈴木和子(シュランベルジュ)
- 10:00 B31-05 東北沖地震震源域の地下構造イメージ  
# 小平秀一・中村恭之・海宝由佳・野徹雄・藤江剛  
佐藤壮・山本揚二郎・三浦誠一・高橋成実(JAMSTEC)
- 10:15 B31-06 白鳳丸KH-13-5次航海による2011年東北沖地震震源域北限周辺における人工震源構造調査(序報)  
# 望月公廣・石原健・山田知朗・山下裕亮・篠原雅尚(東大地震研)  
東龍介・日野亮太(東北大災害研)・佐藤利典(千葉大理)  
八木原寛(鹿大理)・白鳳丸KH-13-5次航海乗船研究者
- 10:30 休憩
- 10:45 B31-07 アウターライズ地震にみられる特異な後続相とその原因-3次元差分法シミュレーションによる検討-  
# 野口科子(振興会)・前田拓人・古村孝志(東大地震研)
- 11:00 B31-08 首都圏の異常な震度分布  
# パナヨトプロスヤニス・酒井慎一・中川茂樹・平田直(東京大学地震研究所)  
笠原敬司(地震予知振興会)
- 11:15 B31-09 三保半島先端陸域の反射法地震探査  
# 山口和雄・伊藤忍(産総研)・入谷良平(シュルンベルジェ)
- 11:30 B31-10 広帯域MT法による中央構造線断層帯周辺のイメージング  
# 吉村令慧・米田格(京大防災研)・小川康雄(東工大)
- 11:45 B31-11 濃尾地震断層域におけるレシーバ関数解析結果に基づく地殻構造のモデリング  
# 飯高隆・橋間昭徳・五十嵐俊博・岩崎貴哉(東大地震研)  
加藤愛太郎(名大)・濃尾地震断層域合同地震観測グループ
- 12:00 B31-12 長岡地域における地震波速度構造および減衰構造について  
# 関根秀太郎・澤田義博・笠原敬司・佐々木俊二・田澤芳博(地震予知振興会)

## B会場 午後

### S06. 地殻構造

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 山本揚二郎・江本賢太郎・小原一成・西澤あずさ

- 13:30 B32-01 中部日本の三次元 P 波減衰構造と島弧マグマ活動  
# 才田悠人・中島淳一 (東北大学予知セ)
- 13:45 B32-02 二重スペクトル比を用いた立山火山下の地震波減衰構造の推定  
# 岩田晃治・川方裕則 (立命館大)・土井一生 (京大防災研)
- 14:00 B32-03 三次元差分法によるコーダ波解析から見積もるランダム微細不均質構造  
# 江本賢太郎 (東北大)・齊藤竜彦・汐見勝彦 (防災科研)・古村孝志 (東大院情報学環, 東大地震研)
- 14:15 B32-04 Reversible Jump MCMC により推定した南海トラフ周辺のランダム速度不均質構造  
# 高橋努・尾鼻浩一郎・山本揚二郎・海宝由佳・仲西理子・小平秀一 (JAMSTEC)  
金田義行 (名古屋大学)
- 14:30 B32-05 地震波干渉法による西南日本における地球内部の反射面検出の試み  
# 三輪直寛・大見士朗 (京大防災研)・平原和朗 (京大理)
- 14:45 B32-06 紀伊半島沖の地震活動と地震波速度構造  
# 山本揚二郎・高橋努・海宝由佳・尾鼻浩一郎・仲西理子・小平秀一・金田義行 (JAMSTEC)
- 15:00 休憩
- 15:15 B32-07 海陸統合自然地震観測による紀伊半島周辺に沈み込むフィリピン海プレートのレシーバ関数イメージ  
# 悪原岳・望月公廣 (東大地震研)
- 15:30 B32-08 四国沖から紀伊水道沖におけるフィリピン海プレートの構造  
# 仲西理子・山本揚二郎・山下幹也・井和丸光・藤江剛・小平秀一・金田義行 (JAMSTEC)
- 15:45 B32-09 海洋性地殻を伝わるトラップ P 波の伝播特性と不均質構造  
# 武村俊介・吉本和生 (横浜市立大学)・利根川貴志 (海洋研究開発機構)
- 16:00 B32-10 高周波地震波動伝播におけるフィリピン海プレート 3 次元形状の影響  
# 小原一成・前田拓人 (東京大学地震研究所)
- 16:15 B32-11 南西諸島前弧域における重力異常と地震波速度構造  
# 西澤あずさ・金田謙太郎・及川光弘・堀内大嗣・藤岡ゆかり (海上保安庁海洋情報部)
- 16:30 B32-12 沖縄先島諸島における P 波減衰構造  
# 小松正直・竹中博士・小田仁 (岡山大・院・自然)
- 16:45 B32-13 琉球海溝最南端におけるフィリピン海プレートの沈み込み構造と地震テクトニクス  
# 新井隆太・海宝由佳・高橋努・仲西理子・藤江剛・小平秀一 (JAMSTEC)・金田義行 (名古屋大学)

## 11月26日(水) C会場 午前

### S10. 活断層・歴史地震

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 西山昭仁・石辺岳男・武村雅之・澤井祐紀

- 9:00 C31-01 文禄五年(1596)伏見地震における京都盆地での被害評価と震度推定  
# 西山昭仁 (東大地震研)

- 9:15 C31-02 1670年西蒲原地震（四万石の地震）の被災地  
# 河内一男（新潟薬科大学）
- 9:30 C31-03 石灯笼に記録された1847年善光寺地震の地震動の再検討  
# 加藤護（京都大人間・環境学）・日岡惇（京都大総合人間）
- 9:45 C31-04 小川家文書に記された安政東海・南海地震による名古屋近辺の被害  
# 平井敬（名大環境）・中井春香（名大減災セ）
- 10:00 C31-05 大正関東地震による千葉県君津市の小学校の被害  
# 村岸純・佐竹健治（東大地震研）
- 10:15 C31-06 テンプレートマッチング法に基づく関東地方における古い地震の震源・発震機構解推定  
# 石辺岳男・佐竹健治・村岸純・鶴岡弘・中川茂樹・酒井慎一・平田直（東大地震研）
- 10:30 休憩
- 10:45 C31-07 神奈川県山北など5町の関東大震災を歩く－震災復興の記録－  
# 武村雅之（名大減災研究セ）
- 11:00 C31-08 三浦半島における関東地震の発生間隔と残留変位  
# 金幸隆・萬年一剛（温泉地学研）・熊木洋太（専修大）・松島義章（神・地球博）
- 11:15 C31-09 歴史時代における鎌倉・逗子地域の隆起量  
# 萬年一剛・金幸隆（温泉地学研）・松島義章（神奈川地球博）
- 11:30 C31-10 南海トラフ巨大地震の「安政型」と「宝永型」について  
# 石橋克彦（神戸大名誉教授）
- 11:45 C31-11 沼津市井田地区で発見されたイベント堆積物  
# 澤井祐紀・谷川晃一郎・田村亨・行谷佑一（産総研）
- 12:00 C31-12 Using foraminifera assemblages to identify paleo-tsunamis deposits on Ishigaki Islands, southwestern Japan  
# Yoko Tu (Hokkaido Univ.)・Masataka Ando (Shizuoka Univ.)  
Chih-Wei Chien (Chen Kung Univ.)・Akihisa Kitamura (Shizuoka Univ.)  
Masanobu Shishikura (AIST)・Mamoru Nakamura (Ryukyuu Univ.)

## C 会場 午後

### S02. 地震計測・処理システム

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 平田直・豊国源知・植平賢司・塩原肇

- 13:30 C32-01 レーザ歪偏差計の開発と温度変化ノイズの測定  
# 出口雄大・新谷昌人（東大地震研）
- 13:45 C32-02 ベイズ推定を用いた一元化震源カタログのための自動震源決定法  
# 溜瀧功史（気象庁）
- 14:00 C32-03 MeSO-net データの自動処理：見かけ速度適合法による地震検出と P, S 到着時測定  
# 平田直・中川茂樹・酒井慎一・ト部卓・岩崎貴哉（東大地震研）・横井康孝（海洋先端研）

- 14:15 C32-04 人間以上に高精度の地震波自動読み取りシステムの開発（その7）—理論エンベロープ波形と観測波形との比較による解析結果の評価—  
# 堀内茂木・堀内優子（株）ホームサイスマメータ）・飯尾能久（京都大学防災研究所）  
澤田義博・関根秀太郎（地震予知総合振興会）・中山貴史・平原聡・河野俊夫・長谷川昭（東北大学）  
小原一成（東京大学地震研究所）・加藤愛太郎（名古屋大学）・中野優・高橋成実（海洋研究開発機構）  
小笠原宏（立命館大学）・Denver Birch・Artur Cichowicz（CGS, 南アフリカ）  
Ali Pinar・Mustafa Comoglu（Bogazici Univ. トルコ）
- 14:30 C32-05 グリーンランド氷床における広帯域リアルタイム地震観測網の構築  
# 豊国源知（東北大理予知観）・Dean Childs（IRIS）・金尾政紀（極地研）  
東野陽子（JAMSTEC）・姫野哲人（成蹊大理）・坪井誠司（JAMSTEC）・Kent Anderson（IRIS）
- 14:45 C32-06 Hi-netの新しい収録装置のセンサーチェック信号のタイミング  
# 國友孝洋（名大環境）
- 15:00 休憩
- 15:15 C32-07 三陸沖海底光ケーブル式地震津波観測システムの復旧と新規システムの設置計画  
# 篠原雅尚・卜部卓・山田知朗・酒井慎一・塩原肇（東大地震研）・金沢敏彦（防災科研）
- 15:30 C32-08 日本海溝海底地震津波観測網（S-net）の設置～三陸沖北部ルート～  
# 植平賢司・金沢敏彦・望月将志・藤本博己・野口伸一・眞保敬・功刀卓・汐見勝彦  
青井真・関口渉次・松本拓己・岡田義光（防災科研）・篠原雅尚・山田知朗（東大地震研）
- 15:45 C32-09 海底面での機動的傾斜観測によって直上で捉えた2014年1月房総沖スロースリップイベント時の傾斜変動  
# 塩原肇・篠原雅尚（東大地震研）・伊藤亜妃・杉岡裕子（JAMSTEC）
- 16:00 C32-10 圧力保持機能を備えた移動式校正用水圧計の開発  
# 町田祐弥・荒木英一郎・西田周平・木村俊則・松本浩幸（JAMSTEC）
- 16:15 C32-11 海底地震計記録からのナガスクジラ鳴音の検出と音源の概略位置の推定  
# 岩瀬良一（JAMSTEC）
- 16:30 C32-12 タイムリバーサル法に基づく震源の動的モデル  
# 菊池年晃（防衛大学）

11月26日（水）D会場 午前

S16. 地盤構造・地盤震動, S01. 地震の理論・解析法

（講演時間12分・質疑応答3分）

座長 浅野公之・林田拓己・松島信一・吉光奈奈

地盤構造・地盤震動

- 9:00 D31-01 基盤地震動のS波/P波振幅比に関する検討  
# 宮腰寛之・津野靖士（鉄道総研）
- 9:15 D31-02 強震動を受けた地盤における地震波速度低下 - 回復過程の経験式  
# 澤崎郁（防災科研）
- 9:30 D31-03 2011年東北地方太平洋沖地震の際に京浜地域で観測された周期2～3秒のパルス波について  
# 植竹富一（東京電力）
- 9:45 D31-04 地震動H/Vスペクトル比を用いた京都市の地盤同定 その1 京都市消防署観測点における検討  
# 吹原慧（京大工）・松島信一・川瀬博（京大防災研）
- 10:00 D31-05 SV波反射法地震探査による浅部地盤構造イメージング  
# 稲崎富士（土木研）

- 10:15 D31-06 立川断層帯周辺地域における3次元深部地盤構造と強震動予測に関する検討  
# 佐口浩一郎・地元孝輔・山中浩明(東京工業大学)・酒井慎一・平田直(東大地震研)
- 10:30 休憩
- 10:45 D31-07 微動観測から推定される加賀平野南部及び邑知潟平野の地下速度構造  
# 浅野公之・岩田知孝(京大防災研)・宮腰研(地盤研)・大堀道広(福井大)
- 11:00 D31-08 1943年鳥取地震の学校被害地点における常時微動を用いた地盤構造推定と地震動評価  
# 吉田昌平・朝日秀伍・香川敬生・野口竜也・貝崎達憲(鳥取大学工)
- 11:15 D31-09 地震波干渉法に基づく別府湾周辺の深部地盤構造モデルの検討  
# 林田拓己(建築研)・吉見雅行(産総研)

#### 地震の理論・解析法

- 11:30 D31-10 Application of seismic interferometry to the data acquired in seismic ACROSS observation  
# 笠原順三(静岡大学防災総合センター)・羽佐田葉子(大和探査技術)  
Khaled Al-Damegh・Ghunaim T. Alanezi(KACST)・西山英一郎(川崎地質)
- 11:45 D31-11 跡公式を用いた地震活動のモデル化について  
# 藤原広行(防災科研)
- 12:00 D31-12 3次元差分法シミュレーションから読み解く岩石試料内の波動伝播  
# 吉光奈奈・古村孝志(東大院情報学環, 東大地震研)・前田拓人(東大地震研)

### D会場 午後

#### S01. 地震の理論・解析法, S07. 地球及び惑星の深部構造と物性

(講演時間12分・質疑応答3分)

座長 河原純・平野史朗・田中聡・古村孝志

#### 地震の理論・解析法

- 13:30 D32-01 共鳴散乱を取り入れた輻射伝達理論  
# 佐藤春夫(東北大理)・早川俊彦(三菱スペース・ソフトウェア)
- 13:45 D32-02 地震波エネルギーの空間分布からの散乱係数と内部減衰の推定(2)  
齋藤清志郎・# 河原純(茨城大)・齊藤竜彦(防災科研)・江本賢太郎(東北大)
- 14:00 D32-03 非線形性が強い問題にも適用可能なWienerフィルターを用いた新しい波形インバージョン法  
# 蓬田清(北大理)
- 14:15 D32-04 固有振動論に基づくスペクトル要素法の誤差解析  
# 長谷川慶・水谷宏光・ゲラーロバート(東大理)・平林伸康(シュルンベルジェ)
- 14:30 D32-05 地震エネルギーの推定精度  
# 平野史朗(筑波大シス情)・八木勇治(筑波大生命環境)
- 14:45 D32-06 高品質なデータを用いた震源過程逆解析における高自由度なモデリングの重要性  
# 笠原天人・八木勇治(筑波大生命環境)
- 15:00 休憩

#### 地球及び惑星の深部構造と物性

- 15:15 D32-07 Hinetで観測されたPKiKP反射係数の周波数特性に見る複雑な内核境界  
# 田中聡(海洋機構)・Hrvoje Tkalcic(ANU)
- 15:30 D32-08 X線非弾性散乱による結晶弾性と下部マントル構造  
# 米田明(岡大地球研)・福井宏之(兵庫県立物質)・Alfred Q.R. Baron(理研放射光)

- 15:45 D32-09 コーダエンベロープ波形インバージョンによる散乱特性推定  
# 竹内希 (東大地震研)
- 16:00 D32-10 プレート境界上の低粘性層による東北地方の火山分布の説明  
# 森重学 (海洋研究開発機構)・Peter E. van Keken (ミシガン大学)
- 16:15 D32-11 深発地震の波形が示す太平洋スラブ内深部の低速度異常  
# 古村孝志 (東大情報学環/地震研)・Simanchal Padhy (NGRI,India)
- 16:30 D32-12 上部マントル S 波鉛直異方性に対する地震表面波の分解能  
# 吉澤和範 (北大理)

11月24日(月) 17:00～18:30 ポスター会場

ポスターセッション

S03. 地殻変動・GNSS・重力, S04. テクトニクス, S09. 地震活動, S12. 岩石実験・地殻応力,  
S13. 地球化学・地下水, S14. 地震予知・予測, S15. 強震動・地震災害, S17. 津波,  
S19. 地震一般・その他, S21. 新潟地震50周年・新潟県中越地震10周年: これからの地震研究と災害軽減

地殻変動・GNSS・重力

- S03-P01 九州の地殻変動や火山を不均質温度構造で説明する～なぜ鹿児島だけ少変形、南東移動か～  
# 間瀬博文
- S03-P02 2011.3.11以降の南鳥島の加速  
# 日置幸介(北大院理)・三井雄太(静岡大理)
- S03-P03 東北地震後に超遠方で検出された余効変動: メカニズムの検討  
# 三井雄太(静大理)・日置幸介(北大理)
- S03-P04 2011年東北沖地震の地震時すべり: 日本列島域の3次元弾性構造の影響と周辺域の断層にかかる応力  
# 橋間昭徳(東大地震研)・T.W. Becker(南カリフォルニア大学)・A. Freed(パーデュー大学)  
佐藤比呂志(東大地震研)・D. Okaya(南カリフォルニア大学)・水藤尚・矢来博司(国土地理院)  
松原誠・武田哲也(防災科技研)・石山達也・岩崎貴哉(東大地震研)
- S03-P05 2011年東北地方太平洋沖地震後における中部日本の地殻歪異常  
# 野村晋一(名大環境)・鷺谷威(名大減災セ)
- S03-P06 2011年東北地方太平洋沖地震の余効変動の物理モデル  
# 福田淳一(東大地震研)・Kaj M. Johnson(Indiana Univ.)
- S03-P07 地殻内低強度領域の引張応力に対する応答: 球と楕円体の違い  
# 高田陽一郎(京大防災研)
- S03-P08 丸い地球におけるコサイスミックな内部応力変化の理論計算  
# 高木悠・大久保修平(東大地震研)
- S03-P09 時間依存のインバージョンで見た東海地方の非定常変動  
# 小沢慎三郎・矢来博司(国土地理院)
- S03-P10 InSAR時系列解析による東海地域周辺の定常的な地殻変動  
# 安藤忍(気象研)・岩切一宏・迫田浩司(気象庁)
- S03-P11 GNSSデータのブロック断層モデルから推定される西南日本の地殻ブロック運動  
# 西村卓也(京大防災研)
- S03-P12 水位及び重力値の変化から読み解く地震時における水のごく単純な挙動  
# 本多亮・大久保慎人・田中俊行(TRIES)・柳澤孝一(JAEA)
- S03-P13 gPhone重力計2台の並行観測  
# 田中俊行・本多亮(東濃地震科研)
- S03-P14 ヒマラヤ中西部におけるGNSS観測—意義と予備的成果—  
# 加藤照之(東大地震研)・Sumanta Pasari・Onkar Dikshit・Javed Malik(IIT Kanpur)・奥村晃史(広島大)
- S03-P15 糸魚川—静岡構造線断層帯の中部および北部におけるひずみ蓄積の多様性と震源断層モデル  
# 寺谷尚子・鷺谷威(名大)・西村卓也(京大防災研)・矢来博司・水藤尚(国土地理院)
- S03-P16 係留ブイを用いたGPS/音響測距結合方式によるリアルタイム海底地殻変動連続観測の精度評価と実用化に向けた課題  
# 今野美冴(東北大理)・木戸元之(東北大災害研)・太田雄策(東北大理)・日野亮太(東北大災害研)  
高橋成実・石原靖久・福田達也・越智寛・田原純一郎・森尚仁・出口充康(海洋研究開発機構)  
武藤勝彦・橋本剛正・本橋修(宇宙航空研究開発機構)

S03-P17 スタッキング手法を用いた群発地震活動のモニタリング

# 原田昌武 (温地研)・宮岡一樹 (気象研)

道家涼介・本多亮・行竹洋平・板寺一洋・竹中潤・里村幹夫 (温地研)

S03-P18 沖積平野地下地質に基づく三陸海岸南部の完新世地殻変動—陸前高田平野における調査結果—

# 丹羽雄一・遠田晋次 (東北大災害研)・須貝俊彦 (東大新領域)

## テクトニクス

S04-P01 繰り返し海底地震観測データによる日本海東部下の上部マントル地震波速度構造

# 中東和夫 (神戸大)・篠原雅尚・山田知朗 (地震研)・植平賢司 (防災科研)

酒井慎一・望月公廣・塩原肇 (地震研)・金沢敏彦 (防災科研)

S04-P02 地殻変動・地震活動からみた北部フォッサマグナ地域の地体構造

# 今井雄輝・竹内章 (富山大・理)

## 地震活動

S09-P01 日露地震観測併合処理による南千島海溝沿いの地震活動

# 一柳昌義・高橋浩晃 (北海道大学)・Nikhaylov Valentin・Iurii Levin (サハリン観測所)

S09-P02 OBSを用いた駿河トラフ石花海周辺の地震活動 続報

# 馬場久紀 (東海大海洋)・平田賢治 (防災科研)・山崎明 (地磁気観測所)

対馬弘晃・勝間田明男・前田憲二 (気象研)・上野寛・青木重樹 (気象庁)

小林昭夫・中田健嗣・木村一洋・弘瀬冬樹・藤田健一 (気象研)・長尾年恭 (東海大海洋研)

S09-P03 地震活動から見る 2011 年東北沖地震の震源域南限

# 仲谷幸浩・望月公廣・篠原雅尚・山田知朗 (東大地震研)・日野亮太 (東北大災害研)

伊藤喜宏 (京大防災研)・村井芳夫 (北大理)・佐藤利典 (千葉大理)

S09-P04 海陸統合データおよび 3D 構造に基づく南海トラフの震源分布

# 中野優・中村武史 (JAMSTEC)・金田義行 (名古屋大学)

S09-P05 琉球海溝南部の繰り返しスロースリップイベントで活性化する超低周波地震活動

# 中村衛・砂川尚也 (琉球大学理学部)

S09-P06 ニュージーランド北島沖合ヒ克蘭ギ沈み込み帯における海底地震観測

# 齋島大資・望月公廣・塩原肇・山田知朗・篠原雅尚 (東大地震研)

Stuart Henrys・Bill Fry・Stephen Bannister (GNS Science)

S09-P07 南西諸島北部の海域及び島嶼域における地震観測によるプレート境界面形状の推定 (1)

# 八木原寛・平野舟一郎・中尾茂・小林励司 (鹿児島大)・馬越孝道 (長崎大)

中東和夫 (神戸大)・内田和也・清水洋 (九州大)

山下裕亮・山田知朗・篠原雅尚 (東大地震研)・後藤和彦 (鹿児島大)

S09-P08 九州地方で見られる動的誘発地震活動

# 岡田千明・Bogdan Enescu・八木勇治 (筑波大学)

S09-P09 日本周辺の沈み込み帯の小繰り返し地震活動の比較

# 日比野剛大・内田直希 (東北大理)・松島健 (九州大理)・中村航 (気象庁)・松澤暢 (東北大理)

S09-P10 日本の地震観測網で捉えられた遠地相似地震活動

# 五十嵐俊博 (東大地震研)

S09-P11 紀伊半島南方沖の南海トラフの南側での微小地震活動について

# 中田健嗣・小林昭夫・平田賢治・対馬弘晃・勝間田明男 (気象研)・山崎明 (地磁気観測所)

馬場久紀・去川寛士・平井孝明・住澤潤樹・四家美和子 (東海大海洋)

- S09-P12 APPLICATION OF DOUBLE DIFFERENCE METHOD IN RELOCATION OF EARTHQUAKES ALONG PALU KORO FAULT  
#Masyitha Retno Budiati · D. A. Suriamihardja · Sabrianto Aswad  
(Geophysics Study Program · Hasanuddin University)
- S09-P13 P波・S波を用いた飛驒地域における深部低周波地震の震源決定  
# 林栄昌 · Jim Mori · 大見士朗 (京大防災研)
- S09-P14 時間円表示図でみた2011年東北地方太平洋沖地震の余震活動  
# 津村建四朗 (地震予知振興会)
- S09-P15 防災科研 Hi-net 震源カタログの検知能力  
# 田中佐千子 · 浅野陽一 · 汐見勝彦 (防災科研)
- S09-P16 Determining the actual nodal plane and analyzing the correlation between earthquake sizes and rake angles  
王敏真 · # 庄建倉 (統数研) · Bogdan Enescu (筑波大) · 王墩 (東大 · 地震研)

#### 岩石実験・地殻応力

- S12-P01 炭質物の熱分解による断層ガウジ黒色化の実験的検証  
# 金木俊也 · 廣野哲朗 (大阪大学)
- S12-P02 回転式摩擦試験機と二軸摩擦試験機を用いた摩擦実験結果の間に整合性はあるか？  
# 中野龍二 · 並木由香 · 堤昭人 (京大理)
- S12-P03 玄武岩、斑レイ岩および花崗岩の弾性波速度およびポアソン比の封圧・間隙圧依存性  
# 西村佳也 · 上原真一 (東邦大理) · 溝口一生 (電中研)
- S12-P04 前駆的ゆっくり滑りに続く本震発生の時間遅れに関する実験的検討  
# 溝口一生 (電中研) · 福山英一 · 山下太 (防災科研) · 滝沢茂 (筑波大) · 川方裕則 (立命館大)
- S12-P05 入力振動の強さと振動数に対する砂山の挙動の依存性を調べるための予備実験  
# 中山雅之 · 川方裕則 (立命館大)

#### 地球化学・地下水

- S13-P01 1999年台湾集集地震における地震動による地下水位変化の深さ依存性  
# 比嘉万友美 · 中村衛 (琉球大理) · 小泉尚嗣 (産総研活断層セ) · 頼文基 (台湾成功大)

#### 地震予知・予測

- S14-P01 モーメント保存則から推定される東日本周辺の高溝型地震の最大規模  
# 弘瀬冬樹 · 前田憲二 (気象研) · 吉田康宏 (気象庁)
- S14-P02 首都圏の地震発生予測モデルの構築に向けて－三次元予測領域の決定－  
# 横井佐代子 · 鶴岡弘 · 平田直 (東大地震研)
- S14-P03 伊豆東部群発地震における常時地震活動強度の予測  
# 熊澤貴雄 (統数研) · 尾形良彦 (統数研 · 東大地震研) · 木村一洋 · 前田憲二 · 小林昭夫 (気象研)
- S14-P04 中規模の繰り返し相似地震の結果検証と最近の活動について  
# 田中昌之 · 勝間田明男 · 岡田正実 (気象研)
- S14-P05 静穏化現象に基づく地震発生予測の可能性評価  
# 吉川澄夫 · 林元直樹 (気象研) · 明田川保 (沖縄気象台)

#### 強震動・地震災害

- S15-P01 みかけ速度と伝播方向の即時推定：波動場外挿を用いた緊急地震速報への応用  
# 佐藤明日花 · 蓬田清 (北大理)

- S15-P02 強震時の海底地震計記録の特徴と緊急地震速報処理への影響：JAMSTEC の釧路沖 OBS の例  
# 林元直樹・干場充之（気象研）・中村武史（海洋研究開発機構）
- S15-P03 準リアルタイムデータを利用した地震観測情報伝達システム－プロトタイプの実験－  
# 赤澤隆士（地盤研究財団）
- S15-P04 S波スペクトル比から推定した全国のサイト特性と、リアルタイム地震動予測への活用  
# 小木曾仁（気象研）・青木重樹（気象庁）・干場充之（気象研）
- S15-P05 モバイル版アンケート震度調査システムの開発  
# 内藤昌平・東宏樹・藤原広行（防災科研）
- S15-P06 2006-2007年千島列島中部沖巨大地震の強震記録  
# 重藤迪子・高井伸雄・笹谷努・一柳昌義（北海道大学）・前田宜浩（NIED）
- S15-P07 強震動の継続時間の計測と遠地P波の高周波震動継続時間との比較  
# 原辰彦（建築研）
- S15-P08 東北地方を震源とするスラブ内大地震およびプレート境界型大地震の高域遮断フィルター  
# 鶴来雅人（地域地盤環境研究所）・香川敬生（鳥取大学）・入倉孝次郎（愛知工業大学）
- S15-P09 相模トラフ沿いの中規模スラブ内地震記録に基づく統計的グリーン関数の生成  
# 佐藤智美（清水建設）
- S15-P10 首都直下地震を対象とした強震動予測手法に関するベンチマークテスト  
# 石川理人・久田嘉章（工学院大学）・後藤賢人（東京理科大学）・中川博人（建築研究所）  
早川崇（清水建設）・野畑有秀（大林組）・河路薫（伊藤忠テクノソリューションズ）  
眞鍋俊平（応用地質）・長坂陽介・野津厚（港湾空港技研）・山本優（大成建設）
- S15-P11 入力波動場に基づく、さまざまな建物の相対的地震危険度評価  
# 飯田昌弘（東大地震研）・飯場正紀（建築研）・楠浩一（東大地震研）  
宮本裕司（阪大工）・五十田博（京大生存圏研）・勅使川原正臣（名大環境）
- S15-P12 高周波数におけるP波輻射特性の崩れ  
# 小林学・武村俊介・吉本和生（横浜市立大学）
- S15-P13 地震発生シミュレーションと地震動・津波伝播シミュレーションの連成－南海トラフ地震への適用－  
# 等々力賢（東大院情報学環／東大地震研）・兵藤守・堀高峰（JAMSTEC）  
古村孝志（東大院情報学環／東大地震研）・前田拓人（東大地震研）
- S15-P14 長周期地震動シミュレーションにおける南海トラフ付加体の効果  
# 郭雨佳・額綱一起・三宅弘恵（東大地震研）
- S15-P15 Attenuation characteristics of absolute, relative, and pseudo relative velocity response spectra between 1 and 10 s  
# Yadab P. Dhakal・Takashi Kunugi・Wataru Suzuki・Shin Aoi（NIED）
- S15-P16 Separation of Intrinsic and Scattering Attenuation using Single Event Data in South Korea  
# 鄭泰雄（世宗大）・吉本和生（横浜市立大）
- S15-P17 観測記録に現れる震源放射特性  
# 町田光孝・泉谷恭男（信州大学）
- S15-P18 強震動記録を用いた震源インバージョンに基づいた国内の内陸地殻内地震の断層長さ地震モーメントのスケールリング則の再検討  
# 宮腰研（地盤研）・入倉孝次郎（愛工大）・釜江克宏（京大原子炉）
- S15-P19 震源直上の強震記録を用いた2008年岩手・宮城内陸地震の震源モデルとすべり速度に基づく特性化震源モデル  
# 吉田邦一・宮腰研（地域地盤環境研）・倉橋奨・入倉孝次郎（愛工大）
- S15-P20 広帯域強震動予測のためのすべり時間関数の設定  
# 倉橋奨・入倉孝次郎（愛工大）・吉田邦一・宮腰研（地盤研）
- S15-P21 強震記録から推定した2011年4月11日福島県浜通りの地震の震源過程  
# 染井一寛・宮腰研（地盤研）・凌甦群（ジオアナリシス研）

- S15-P22 2013年2月25日栃木県北部の地震 ( $M_J$  6.3) の震源過程 -3 ~経験的および理論グリーン関数を併用した解析～  
# 引間和人 (東京電力)
- S15-P23 InSAR・遠地波形・強震波形から推定した2010年Darfield地震・2011年Christchurch地震の破壊過程  
# 尹淳恵 (東大地震研・CTC)・額額一起・青木陽介 (東大地震研)
- S15-P24 ペルー南部における海溝型巨大地震のすべりモデルのシナリオの構築及び強震動予測  
# プリード ネルソン (防災科研)・中井正一 (千葉大)・山中浩明 (東工大)  
カルデロン ディアナ・アギラル セノン (国立工科大学・ペルー)・関口徹 (千葉大)

## 津波

- S17-P01 三陸海岸における最近数千年間の古津波堆積物：岩手県山田町小谷島と宮城県南三陸町大沼における調査結果  
# 石村大輔 (東北大災害研)・宮内崇裕 (千葉大)
- S17-P02 隠岐島後における日本海の津波堆積物調査結果  
# 松浦律子・田力正好 ((公財)地震予知振興会)・山田和芳 (ふじのくに地球環境史ミュージアム)  
瀬戸浩二 (島根大)・原口強・木村圭吾 (大阪市大)・捧一夫・高橋実 (パスコ)
- S17-P03 石垣島東海岸における津波堆積物調査  
# 志賀翔太・中村衛・藤田和彦・松本剛・山城咲貴 (琉球大・理)  
安藤雅孝・北村晃寿・生田領野 (静大・理)・徐陽子 (北大・理)
- S17-P04 A method to ensure consistency between tsunami forecast chart-based warnings and Mercalli intensity-based evacuation  
# Yutaka Hayashi (MRI)・Patricio Catalan・Jose Baquedano (UTFSM)  
Cecilia Zelaya (SHOA)・Victor Orellana (ONEMI)・Toshitaka Baba (JAMSTEC)
- S17-P05 津波浸水シミュレーションコードの作成  
# 齊藤竜彦 (防災科研)・稲津大祐 (東大海洋アライアンス)
- S17-P06 リアルタイム津波浸水予測精度向上に向けた波源逆解析手法の検討  
# 大石裕介 (富士通研)・今村文彦・菅原大助 (東北大災害科学国際研)
- S17-P07 遠方DARTも含む津波波形インバージョンから推定される2010年チリ地震 ( $M_w$ 8.8) の津波波源  
# 吉本昌弘 (名大環境)・綿田辰吾 (東大地震研)・藤井雄士郎 (建築研)・佐竹健治 (東大地震研)
- S17-P08 2011年東北地方太平洋沖地震の連結津波シミュレーション：宮城県石巻周辺の津波遡上過程の評価  
# 藤原了・是永真理子・河路薫・橋本紀彦・田宮貴洋 (伊藤忠テクノソリューションズ)  
荒木啓司・谷本早紀 (鉄道総合技術研究所)
- S17-P09 自己浮上式海底水圧計データを用いた2011年東北地方太平洋沖地震の津波波源の推定  
# 対馬弘晃 (気象研)・日野亮太 (東北大)・稲津大祐 (東大)  
伊藤喜宏 (京大)・長田幸仁・鈴木秀市・飯沼卓史 (東北大)
- S17-P10 1896年明治三陸地震の検潮記録と津波痕跡高による津波波源推定 (2)  
# 藤井雄士郎 (建築研)・佐竹健治 (東大地震研)・山木滋 (シーマス)
- S17-P11 日本列島沿岸部における津波減衰の周期依存性-2010年チリ中部沖地震津波と2011年東北太平洋沖地震津波-  
# 田野邊陸 (東北大院)・今井健太郎 (東北大災害研)・林豊 (気象研究所)・今村文彦 (東北大災害研)
- S17-P12 宝永地震津波 (1707) における五ヶ所湾地域の被害状況  
# 鳴橋竜太郎 (東大地震研)・原田智也 (東大情報学環)・佐竹健治 (東大地震研)
- S17-P13 昭和南海地震直後の復元水および地盤沈下による入波について  
# 中村不二夫 (海里マリン病院)

## 地震一般・その他

- S19-P01 鯖江市東部付近において続発する地震について  
# 岡本拓夫 (福井高専)・谷口溪 (福大工)・平野憲雄 (元京大)

- S19-P02 太平洋プレートおよびフィリピン海プレートの沈み込みにより福島県と茨城県の県境付近の領域に形成される応力場  
# 平塚晋也（北大地震火山セ）・佐藤魂夫（弘前大理工）
- S19-P03 気象庁カタログにおける地震検知能力の週周期変化と completeness magnitude  
# 岩田貴樹（常磐大学）
- S19-P04 仕様標準化をめざした新型アクロス震源装置の開発  
# 山岡耕春・鈴木和司・國友孝洋（名古屋大）・渡辺俊樹（東大地震研）
- S19-P05 東北地方太平洋沖地震以降の土岐弾性波アクロス信号の変化  
# 國友孝洋・山岡耕春（名大環境）・渡辺俊樹（東大地震研）
- S19-P06 地震波モニタリングのためのボアホール型シングルフォース震源の開発  
# 横井大輝・山岡耕春・鈴木和司・立花健二（名古屋大学）
- S19-P07 ACROSS による東海地方下の地震波速度変動の観測  
# 生田領野（静岡大）・山岡耕春・渡辺俊樹・國友孝洋（名古屋大）

**新潟地震 50 周年・新潟県中越地震 10 周年：これからの地震研究と災害軽減**

- S21-P01\* 現在・将来の防災につながる過去の災害記録の公開～「1964 年新潟地震オープンデータ」の試み～  
# 臼田裕一郎・田口仁・内山庄一郎・鈴木比奈子（防災科研）
- S21-P02 ICT を用いたケーブル式海底地震観測システムによる新潟県粟島沖における地震観測  
# 篠原雅尚・金沢敏彦・山田知朗・真保敬・町田裕弥・酒井慎一（東大地震研）
- S21-P03 構造不均質とアスペリティ：中越地震についての力学的考察  
# 宮武隆（東大地震研）
- S21-P04 ノイズを効率的に抑制するセンブリンス係数の計算手法を用いた 2007 年中越沖地震の震源イメージ  
# 本多亮（温地研）・蓬田清（北大理）

---

\*は招待講演

11月25日(火) 17:00~18:30 ポスター会場

ポスターセッション

S01. 地震の理論・解析法, S02. 地震計測・処理システム, S06. 地殻構造,  
S07. 地球及び惑星の深部構造と物性, S08. 地震発生の物理, S10. 活断層・歴史地震,  
S16. 地盤構造・地盤震動, S18. 地震教育・地震学史

地震の理論・解析法

- S01-P01 地震波散乱現象観測による地域応力場変化の推定  
# 岡本京祐(京大院工, 現鉄道総研)・三ヶ田均・武川順一(京大院工)
- S01-P02 粘性流体含有亀裂によるSH波散乱への差分法の適用  
# 椎名高裕(東北大)・河原純(茨城大)・岡元太郎(東工大)
- S01-P03 地震波速度変化のスペクトル解析  
# 中原恒(東北大・理)
- S01-P04 大規模地震動シミュレーションに向けた曲線座標系差分法の検討  
# 前田拓人(東大地震研)
- S01-P05 相互相関関数の2次元 sensitivity-kernel: 励起源に不均質がある場合  
# 西田究(東大地震研)
- S01-P06 Hi-net 短周期地震計で測定可能な常時微動の周波数帯域  
# 林田拓己(建築研)
- S01-P07 常時微動波動場の到来方向モニタリング  
# 高木涼太・小原一成(東大地震研)
- S01-P08 Seismic velocity changes associated with the M9 Tohoku-Oki earthquake from analyses of Kik-net data of doublets  
# Pacheco-Vivero Karim・Takeshi Nishimura・Hisashi Nakahara (Tohoku university)
- S01-P09 スペクトル要素法による全球高精度地震波形計算  
# 坪井誠司・三好崇之・大林政行・東野陽子・安藤和人(JAMSTEC)

地震計測・処理システム

- S02-P01 DONET イベントデータ提供システムの開発  
# 坪井誠司・高江洲盛史・堀川博紀・末木健太郎・神谷眞一郎  
中村武史・中野優・園田朗・高橋成実(JAMSTEC)
- S02-P02 GNSS データを用いた W-phase 解析と断層面推定  
# 宮岡一樹・勝間田明男(気象研)・上野寛(気象庁)  
川元智司・宮川康平(地理院)・矢萩智裕(内閣官房)
- S02-P03 アレイ観測をめざした短スパン伸縮計の改良  
# 加納靖之(京大防災研)・細善信・尾上謙介
- S02-P04 STS-1 型地震計のフィードバック回路の更新(その2)  
# 石原靖(海洋研究開発機構)
- S02-P05 超深度掘削孔での長期孔内計測に用いる加速度計の高温評価試験  
# 木村俊則・荒木英一郎(JAMSTEC)
- S02-P06 水晶振動子を用いた加速度計の特性に関する基礎的検討  
松田滋夫(クローバテック)・中仙道和之(セイコーエプソン)・# 盛川仁(東工大総理)
- S02-P07 内陸地震発生域における0.1 満点地震観測へ向けて  
# 松本聡(九大地震火山セ)・酒井慎一(東大地震研)・加藤愛太郎(名大環境)  
松澤暢(東北大理)・飯尾能久・満点計画グループ(京大防災研)

- S02-P08 首都圏地震観測網 MeSO-net 加速度計の設置方位の検証  
# 加納将行・長尾大道 (東大地震研)・汐見勝彦 (防災科研)  
酒井慎一・中川茂樹・水迫覚信・堀宗朗・平田直 (東大地震研)
- S02-P09 高密度広帯域地震観測網における機器の正常性確認  
# 木村武志 (防災科研)・村上寛史 (地震予知振興会)・松本拓巳 (防災科研)
- S02-P10 モバイル端末での震源分布表示アプリ開発  
# 江本賢太郎 (東北大)・齊藤竜彦・汐見勝彦 (防災科研)
- S02-P11 地震活動解析ソフト (TSEIS) の機能強化  
# 鶴岡弘・尾形良彦 (東大地震研)
- S02-P12 地震動予測プログラムの並列処理による高速化  
# 古舘友通 (気象研)

### 地殻構造

- S06-P01 KAN94 測線の MDRS 法による再解析  
# 堀川晴央・阿部信太郎・山口和雄 ((独) 産総研)・阿部進 ((株) 地科研)・木村尚紀 ((独) 防災科研)
- S06-P02 可搬型バイブレーター震源を用いた浅層反射法地震探査  
# 伊藤忍・山口和雄 (産総研)・入谷良平 (シユルンベルジェ)
- S06-P03 北西太平洋シャツキー海台南東方における地震探査  
# 大平茜 (横浜国大)・小平秀一 (横浜国大 / JAMSTEC)・中村恭之・藤江剛・新井隆太 (JAMSTEC)
- S06-P04 インド洋ロドリゲス三重会合点周辺、Kairei 熱水フィールドにおける地震波速度構造  
# 高田裕能・佐藤利典・野口ゆい・河野昭博 (千葉大理)・山田知朗・篠原雅尚 (東大地震研)
- S06-P05 高分解能反射断面に見られる北部日本海溝軸近傍の構造の特徴  
# 中村恭之・小平秀一・山下幹也・三浦誠一・藤江剛・井和丸光 (JAMSTEC)
- S06-P06 日本海溝海底地震津波観測網 (S-net) 設置海域における地下構造調査  
# 眞保敬・植平賢司・金沢敏彦・望月将志・藤本博己・野口伸一・功刀卓・汐見勝彦  
青井真・関口渉次・松本拓己・岡田義光 (防災科研)・篠原雅尚・山田知朗 (東大地震研)
- S06-P07 福島県相馬沖の地震波速度構造調査  
# 武林仁樹・中東和夫・島伸和 (神戸大学)  
佐藤壮・藤江剛・高橋努・三浦誠一・小平秀一 (海洋研究開発機構)
- S06-P08 茨城県東方沖の震源決定深さについて  
勝間田明男・# 田中昌之 (気象研)・篠原雅尚 (東大地震研)
- S06-P09 高知沖から紀伊半島沖における高分解能反射構造イメージング  
# 山下幹也・仲西理子・中村恭之・三浦誠一・小平秀一・金田義行 (海洋研究開発機構)
- S06-P10 能登半島西方沖～大和堆における地殻構造探査  
# 野徹雄・佐藤壮・小平秀一 (JAMSTEC)・石山達也・佐藤比呂志 (東大地震研)
- S06-P11 屈折法地震探査による日本海・日本海盆南縁部の  $V_p/V_s$  分布  
# 佐藤壮・野徹雄・小平秀一・高橋成実 (JAMSTEC)・金田義行 (名大)
- S06-P12 低  $V_p/V_s$  域・小速度勾配域で発生する微小地震  
# 松原誠 (防災科研)
- S06-P13 福島 - 山形県境地域における地震活動と地震波減衰構造  
# 宮垣敬一郎・津村紀子 (千葉大)
- S06-P14 常時微動トモグラフィによる鳴子火山群周辺の 3 次元 S 波速度構造  
# 田村淳・岡田知己 (東北大予知セ)
- S06-P15 重力異常からみた長町 - 利府断層帯の特徴  
# 和田茂樹・澤田明宏・平松良浩 (金沢大)・岡田真介 (東北大)・本多亮・田中俊行 (東濃地震研)

- S06-P16 稠密アレイ自然地震観測記録のレシーバ関数解析による南アルプス南端部地域のフィリピン海プレートの形状  
# 川崎悠介 (名古屋大)・渡辺俊樹 (東大地震研)・狩野謙一 (静岡大)  
伊藤谷生 (帝京平成大)・阿部進 (地科研)・野田克也・河内善徳 (ジオシス)
- S06-P17 南アルプス南端部地域における詳細な震源分布と微細構造の推定  
# 原田昌武・行竹洋平 (温地研)・渡辺俊樹 (地震研)・狩野謙一 (静岡大)  
伊藤谷生 (帝京平成大)・野田克也・河内善徳 (ジオシス)・里村幹夫 (温地研)
- S06-P18 濃尾地震震源域周辺の地震波減衰構造  
# 水見ゆふ・津村紀子 (千葉大)・中島淳一 (東北大)・加藤愛太郎 (名大)  
濃尾地震断層域合同地震観測グループ
- S06-P19 九州地方における地殻の内部減衰と散乱減衰  
# 志藤あずさ (京大理)・松本聡 (九大理)・大倉敬宏 (京大理)
- S06-P20 宮古・八重山諸島周辺における地震活動とランダム速度不均質構造  
# 高橋努・海宝由佳・石原靖・山本揚二郎・仲西理子・尾鼻浩一郎・小平秀一 (JAMSTEC)  
金田義行 (名古屋大学)
- S06-P21 簡便なコーナ周波数  $f_c$  の推定法と減衰量  $t^*$  の決定  
# 小松正直・竹中博士・小田仁 (岡山大・院・自然)
- S06-P22 なぜ近接する2点で特徴の異なるレシーバ関数が観測されるのか?  
# 汐見勝彦 (防災科研)

### 地球及び惑星の深部構造と物性

- S07-P01 ダイヤモンドアンビル GHz 音速法の開発  
# 米田明 (岡山大地球研)
- S07-P02 地震波経路を利用したS波偏向異方性モデリングによるウェッジマントル内の antigorite の分布範囲と含有率の推定法の開発  
# 永治方敬 (名大環境)・ウォーカー アンドリュー・ウッキー ジェームズ  
ケンダール マイケル (プリストル大地球)・ウォリス サイモン (名大環境)
- S07-P03 「ふつうの海洋マントル」プロジェクトで実施された爆破実験による北西太平洋の最上部マントル構造  
# 一瀬建日・塩原肇・山田知朗・八木健夫・篠原雅尚 (東大地震研)  
杉岡裕子 (JAMSTEC)・歌田久司 (東大地震研)
- S07-P04 全マントルP波鉛直異方性トモグラフィー  
# 北川弘樹・趙大鵬・豊国源知 (東北大・理・予知セ)
- S07-P05 日本列島のSKSスプリッティングパラメータの詳細分布  
# 小川直人・川勝均・竹内希 (東大地震研)・汐見勝彦 (防災科研)
- S07-P06 日本列島下の遠地地震P波・S波トモグラフィー  
# 藤澤萌人・趙大鵬・豊国源知 (東北大・理・予知セ)
- S07-P07 2観測点間の表面波振幅比を用いた北米大陸の位相速度分布  
# 浜田広太・吉澤和範 (北大理)
- S07-P08 北西太平洋における広帯域海底地震観測データを用いたふつうの海洋プレート下面検出の試み  
# 安部祐希・川勝均 (東大地震研)

### 地震発生の物理

- S08-P01 Experimental Evidence of the Existence of a Corner Wave Generated by Shallow・Supershear Dip-Slip Fault Rupture  
# Koji Uenishi・Takayuki Takahashi・Koji Fujimoto (Sch. Eng., Univ. Tokyo)

- S08-P02 Dynamic Fracture in a Layered Medium Induced by Primary Dip-Slip Fault Rupture: Broken (Anti-) Symmetry  
#Koji Uenishi (Sch. Eng., Univ. Tokyo)
- S08-P03 粒子法による断層の動的破壊シミュレーション  
# 伊藤将行・平原和朗 (京大理)
- S08-P04 2011 年東北地方太平洋沖地震サイクルの動的効果を含む 2 次元スペクトル要素法シミュレーション  
# 清水宏幸・平原和朗 (京都大学)
- S08-P05 動的地震発生サイクルシミュレーション結果を利用した地震発生予測システムの評価  
# 日吉善久・堀高峰・野田博之 (JAMSTEC)
- S08-P06 数値シミュレーションから推定される 2011 年東北地方太平洋沖地震後の宮城県沖地震の発生間隔  
# 中田令子・有吉慶介・兵藤守・堀高峰 (海洋研究開発機構)
- S08-P07 南海トラフ沿い巨大地震の前駆すべりの多様性  
# 弘瀬冬樹・前田憲二・藤田健一 (気象研)
- S08-P08 南海トラフの大地震発生サイクル間におけるスロースリップイベントの数値シミュレーション  
# 松澤孝紀 (防災科研)・芝崎文一郎 (建築研)・小原一成 (東大地震研)・廣瀬仁 (神戸大安全セ)
- S08-P09 西南日本での深部低周波微動の振幅 - 継続時間分布と scaled energy の対比  
# 堀野一樹・平松良浩・水上知行 (金沢大)・小原一成 (東大地震研)・松澤孝紀 (防災科研)
- S08-P10 東濃十字アレー深部ボアホール地震観測網を用いた深部低周波地震の観測. 東海地域 2014 年 8-9 月の活動  
# 鈴木貞臣・大久保慎人・浅井康広・石井紘 (東濃地震科研)
- S08-P11 四国の地殻・マントルにかかる多様な応力の根拠と整理～ 1946 年南海地震の破壊過程の解明の前に～  
# 間瀬博文
- S08-P12 小繰り返し地震の高周波成分の多様性  
# 畠山範重・内田直希・松澤暢・岡田知己・中島淳一 (東北大・理)・松島健 (九州大・理)  
河野俊夫・平原聡・中山貴史 (東北大・理)・2011 年東北地方太平洋沖地震合同余震観測グループ
- S08-P13 強震記録を用いた 2014 年チリ北部の地震の震源過程の推定  
# 鈴木亘・プリードネルソン・青井真 (防災科研)
- S08-P14 地震・津波波形から推定される 1971 年サハリン西方沖の地震の断層モデル  
# 室谷智子・佐竹健治 (東大地震研)・原田智也 (東大情報学環 / 東大地震研)  
Artem Loskutov・Georgiy Schevchenko (IMGG)
- S08-P15 2004 年に起きた 2 つの M7 級釧路沖地震：破壊過程の特徴  
# 佐川朋之・山田卓司 (北大理地震火山センター)
- S08-P16 コーダ波スペクトル比法を用いた南アフリカ Ezulwini 鉱山採掘前線における微小破壊の応力降下量推定  
# 村上理・川方裕則 (立命館大)・佐々木裕哉 (萩原電気)・直井誠 (京大工)  
中谷正生 (東大地震研)・Joachim Philipp (GMuG)・Thabang Masakale (OHMS)  
Thabang Kgarume (CSIR)・Luiz Ribeiro (Seismogen)・矢部康男・森谷祐一 (東北大)  
Anthony Ward (Seismogen)・Raymond Durrheim (CSIR)・小笠原宏 (立命館大)
- S08-P17 Fast Estimate of Rupture Process of Large Earthquakes via Real Time Hi-net Data  
#Dun Wang・Hitoshi Kawakatsu (ERI)・Jim Mori (DPRI)
- S08-P18 中・大規模地震における見かけ応力のメカニズム依存性  
# 木内亮太・Jim Mori (京大防災研)
- S08-P19 遠地実体波震源過程解析の自動化に向けた最適パラメータの考察  
# 藤田健一・勝間田明男・小林昭夫 (気象研)・迫田浩司・清水淳平・長谷川嘉臣 (気象庁)
- S08-P20 震源過程解析と非負の条件  
八木勇治 (筑波大生命環境)・# 深畑幸俊 (京大防災研)

## 活断層・歴史地震

- S10-P01 1703 年元禄地震の滑り分布の空間解像度および滑り範囲の東限についての検討  
# 小林励司 (鹿大理工)
- S10-P02 1833 年天保出羽沖地震津波の波源再評価  
# 今井健太郎 (東北大災害研)・都司嘉宣 (深田地質研究所)・菅原大助 (東北大災害研)
- S10-P03 海域における断層総合評価プロジェクト  
金田義行・# 高橋成実・及川信孝 (海洋研究開発機構)・大角恒雄・藤原広行 (防災科学技術研究所)
- S10-P04 越後平野西縁断層帯における S 波ランドストリーマー反射法地震探査  
# 稲崎富士 (産総研/土木研)・宮地良典 (産総研)・卜部厚志 (新潟大)・楳原京子 (山口大)
- S10-P05 伊豆半島東方沖の活断層帯 (ITTL) と M7 級・M8 級の地震の分布  
# 金幸隆 (温地研)
- S10-P06 1 秒グリッド DEM で見る天竜海底谷出口付近の海底活断層地形 (予察)  
# 杉戸信彦 (法政大)・中田高・後藤秀昭 (広島大)・渡辺満久 (東洋大)・鈴木康弘 (名古屋大)
- S10-P07 三重県尾鷲市須賀利大池の津波堆積物を用いた地震記録の復元  
# 宮野宰・松岡裕美・岡村眞 (高知大)
- S10-P08 1944 年東南海地震のアンケート調査による震度分布  
# 原田智也 (東大情報学環・地震研)・室谷智子・佐竹健治 (東大地震研)  
古村孝志 (東大情報学環・地震研)
- S10-P09 活断層の再起性について - 活断層の情報と構造物の建設 -  
# 木村正彦 (技術経営研究所)

## 地盤構造・地盤震動

- S16-P01 八重山・宮古諸島島嶼部における深部地盤 S 波速度構造モデル  
# 山田伸之 (福岡教育大)・竹中博士 (岡山大)
- S16-P02 富士山の動態モニタリングのための固有振動特性の評価  
# 小嶋薫・山中浩明・地元孝輔・佐口浩一郎 (東工大)
- S16-P03 微動観測による和歌山平野の地下構造調査 (その 1) - SPAC 法と H/V スペクトルによる地下構造モデルの検討 -  
# 上林宏敏・川辺秀憲・池田晃一・釜江克宏 (京大原子炉)・大堀道広 (福井大)・宮腰研 (地盤研)
- S16-P04 微動観測による和歌山平野の地下構造調査 (その 2) - FK 法による Love 波および Rayleigh 波位相速度の推定 -  
# 大堀道広 (福井大)・上林宏敏・川辺秀憲・池田晃一・釜江克宏 (京大原子炉)・宮腰研 (地盤研)
- S16-P05 小笠原硫黄島における常時微動アレイ観測  
# 村越匠・林浩平 (防衛大)
- S16-P06 重力異常および微動による鹿野断層とその周辺の地盤構造推定  
# 野口竜也・小倉康平・香川敬生・吉田昌平・福田大地 (鳥取大院)・西田良平 (鳥取大)
- S16-P07 Discussion on the stability of phase velocity estimated from linear array observation of microtremors  
# Xinrui Zhang・Hitoshi Morikawa (東京工業大学)
- S16-P08 常時微動を用いた浅部構造探査の高度化について  
# 先名重樹 (防災科研)・長郁夫 (産総研)・藤原広行 (防災科研)
- S16-P09 最表層地盤の S 波インピーダンス測定法の開発 (3): 1 次元ランダム媒質における検証  
# 後藤浩之 (京大防災研)・田中伸明 (ケミカルグラウト)  
澤田純男 (京大防災研)・稲谷栄己 (勝島製作所)
- S16-P10 斜面における地震観測による斜面内部構造推定の試み  
# 土井一生・王功輝・末峯章 (京大防災研)

- S16-P11 地震波を用いたインド北部の地下構造の推定  
# 道面和久・瀨瀬一起（東大地震研）・鈴木晴彦（応用地質）
- S16-P12 差分法による盆地端部の堆積層構造推定  
武村俊介・# 赤津舞・吉本和生（横浜市立大学）
- S16-P13 地震波速度の鉛直勾配を考慮した関東堆積盆地構造のモデル化－長周期地震動のより正確な評価を目指して－  
# 増田啓・吉本和生・武村俊介・赤津舞（横浜市立大学）
- S16-P14 関東平野北部における長周期地震動のシミュレーション  
# 武村俊介・増田啓・鍛冶川謙吾・赤津舞・吉本和生（横浜市立大学）
- S16-P15 関東堆積盆地における長周期地震動の卓越周期 - 浅発の中・大地震に見られる特徴とその解釈 -  
# 吉本和生・武村俊介（横浜市立大学）
- S16-P16 新潟東港の石油備蓄基地内における長周期地震動特性の短距離での相違について  
# 畑山健（消防研）・座間信作（横国大）
- S16-P17 大分平野における東日本太平洋沖地震時の増幅特性  
# 吉見雅行（産総研）
- S16-P18 諏訪盆地における強震観測と地盤震動特性  
# 三宅弘恵・宮川幸治・瀨瀬一起（東大地震研）・田守伸一郎（信州大）・坂上実（東大地震研）
- S16-P19 地震動の長継続時間記録を用いた応答継続時間の面的分布に関する検討  
# 新井健介・石井透（清水建設）・平田直（東大地震研）
- S16-P20 阪神地域（尼崎～東灘）での地震記録に見られる特徴的な後続波  
# 田中宏樹・岩田知孝・浅野公之（京大防災研）
- S16-P21 超高密度地震観測記録のコヒーレンスに含まれる地点間特性と入力特性を同定する試み  
# 木村紗也佳（京大院工）・後藤浩之（京大防災研）・盛川仁（東工大）・澤田純男（京大防災研）
- S16-P22 2014年3月14日伊予灘地震の大深度地震観測記録に基づくQ値逆解析（速報）  
# 西坂直樹・鈴木俊輔・大西耕造・石川慶彦・松崎伸一（四国電力）  
長井千明・安藤賢一（大林組）・佐藤浩章（電中研）
- S16-P23 孔井内物理検層による地下深部岩盤物性－防災科学技術研究所による陸上深層掘削の例（続）－  
# 小村健太郎（防災科研）

#### 地震教育・地震学史

- S18-P01 教員サマースクール 2014 in 阿蘇 実施報告  
# 山田伸之（福岡教育大）・荒井賢一（栄東高）・根本泰雄（桜美林大）  
美澤綾子（静岡高）・南島正重（両国高）・山本芳裕（大船渡高）